

道路欠損部簡易補修業務仕様書（案）

（適用範囲）

第1条 本仕様書は、発注者が実施する除排雪および道路欠損部簡易補修業務委託（地域維持型JV）の内「道路欠損部簡易補修業務」（以下「本業務」という。）について適用され、受注者が履行しなければならない一般事項を定めたものである。

（受注者の義務）

第2条 受注者は契約の履行にあたっては、本業務の意図及び目的を十分に理解したうえで、本業務を実施するよう最高の技術を発揮しなければならない。

（業務の期間）

第3条 令和6年11月1日 から 令和7年3月31日 まで

（業務の目的）

第4条 本業務は、冬期間における市民生活と産業経済活動の安定を図るため、安全で円滑な道路交通を確保する効率的な除雪作業と併行して簡易補修業務に臨むことを目的とする。

（調査職員）

第5条 本仕様書において調査職員とは、発注者が当該業務委託契約の調査・監督権限行使するものとして受注者に通知した職員をいう。

（業務内容）

第6条 本業務は、履行期間中に道路維持パトロールを実施し、道路に欠損部を発見した際に常温合材で補修作業（以下「維持補修パトロール」という。）を行うものとする。

2 維持補修パトロールは、原則として管理道路の路面が目視にて確認できる状況下で実施する。

3 維持補修パトロールは、路面が目視可能な車両速度で実施するものとし、安全対策を講じた上で実施すること。

4 維持補修パトロールは、各業務委託の（除排雪路線延長×10）相当の距離を上限として、第3条に掲げる業務期間内に実施すること。

5 維持補修パトロールは、毎月全ての路線を巡回する必要はないが、第3条に掲げる業務期間内に（除排雪路線延長×5）相当以上の距離を巡回し、業務完了時点において路面状態が良好であるようにすること。

6 維持補修パトロールは、3月を重点実施月とし、融雪後の巡回および補修作業を重点的に実施すること。

7 維持補修パトロールの実績は月毎にとりまとめ、道路維持パトロール作業実績報告書（様式第1号）を作成し、調査員に提出すること。ただし、緊急の場合はこの限りではなく、その都度調査員に報告し指示を仰ぐこと。

8 使用する常温合材は発注者から現物支給するものとし、受け渡し場所及び数量は、調査職員が指示するものとする。

9 維持補修パトロールによる補修作業のほか、調査職員から道路欠損部補修の指示があ

った場合は、すみやかに指示のあった場所の補修を行うものとする。

(作業状況の確認)

第7条 作業状況は、作業報告書により確認するものとする。

2 常温合材の使用量は、使用後の袋を調査職員に直接確認してもらうこととする。

(現地立ち合い)

第8条 受注者がパトロール中に異常を発見し受注者では判断できない状況の場合は、調査職員に立ち会いを求めることができる。

(安全管理)

第9条 交通誘導等の安全管理は、原則として同乗する世話役により対応するものとし、作業中の交通安全確保に十分留意すること。

2 幹線道路等交通量が多く、前項による対応では安全を確保し難い場合は、調査職員と事前協議を実施し、路線を選定した上で、作業前に維持補修作業実施計画書(様式第2号)を提出し、調査職員の承認を得ることで交通誘導員を配置することができる。

3 前項による補修計画を実施する場合は、パトロール用GPS端末による実績記録を必須とし、補修作業完了後は、速やかに維持補修作業完了報告書(様式第3号)を提出しなければならない。

(運転員の届出)

第10条 受注者は、パトロールを実施する運転員及び、同乗する世話役について発注者に届出するものとする。

(請求)

第11条 請求については、毎月の除雪業務委託料の請求時に併せて行うものとする。

2 前項の請求書を提出する時に、請求額に該当する作業報告書を添付するものとする。